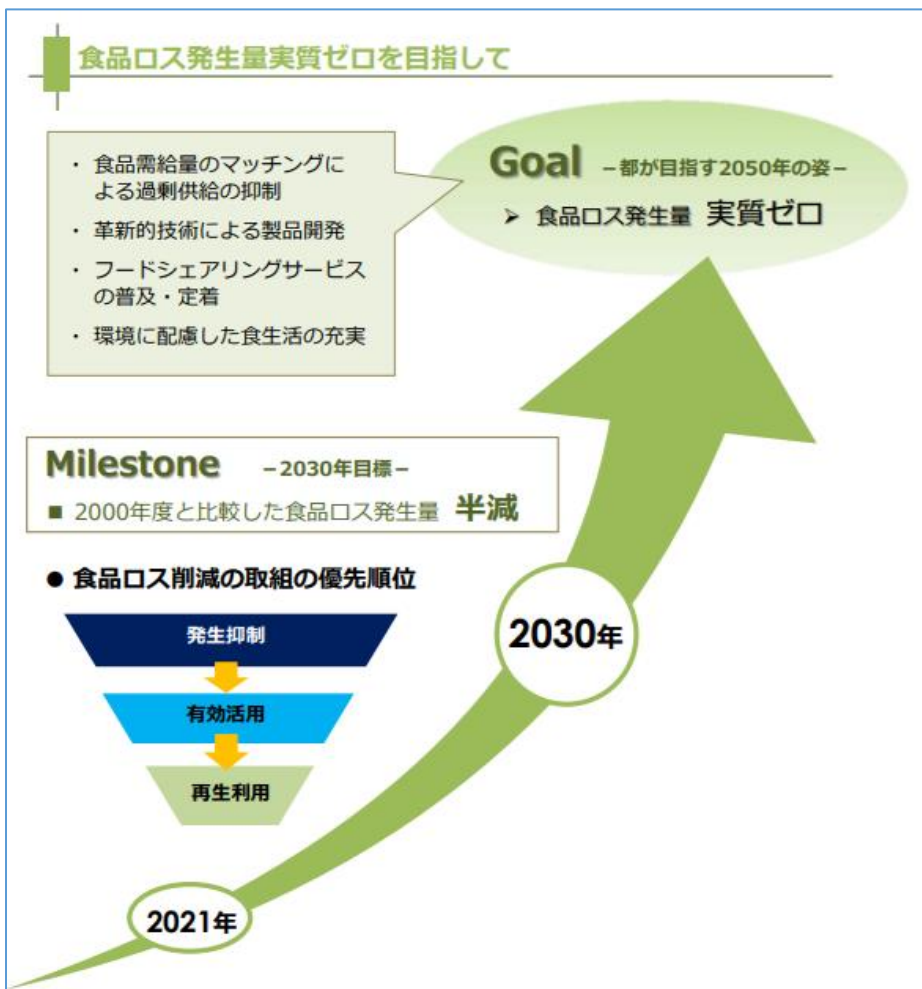


# 食品ロス

2017年度の東京都全体の食品ロスの年間発生量は約51万トン、日本全体では約612万トンと推計されています。これは一人当たり毎日お茶わん1杯分の御飯はいごはんを捨てているのと同じ量に相当します。さらに世界全体では約13億トンの食料が毎年廃棄はいきされています。これは、世界の食料生産量の3分の1に当たる量です。



## 東京都の食品ロスへの対策

東京都では、生産から消費にいたるまでのあらゆる段階で発生している食品ロスは、資源だけでなくCO<sub>2</sub>排出はいしゅつの面からも喫緊きっきんに取り組むべき課題だと考えています。このため、東京都食品ロス削減推進計画を2021年3月に策定し、2030年までに食品ロス発生量を2000年度と比較して半分に、2050年までに実質ゼロを目指しています。多岐にわたる食品ロス対策を着実に進めるため、事業者、消費者、行政等が緊密きんみつに連携れんけいを図り一丸となって取組を推進しています。

# 東京都の主な施策<sup>し さ く</sup>



東京食品ロスゼロアクション  
(啓発冊子)

■発生抑制<sup>よくせい</sup>（リデュース）を基調とした

持続可能な循環<sup>じゅんかんがた</sup>型社会へ

■先進技術<sup>さくげん</sup>を活用した食品ロスの削減

■フードサプライチェーン<sup>れんけい</sup>の連携した取組の推進

■未利用食品の有効活用の推進

■食品リサイクルの推進

○東京都の食品ロス<sup>し さ く</sup>への主な施策<sup>くわ</sup>について、詳しく調べてみよう。

# 飢餓の状況

食品ロスが問題となっている一方で、飢えに苦しむ人々がいます。

飢餓人口（十分な食料が手に入らず、栄養不良になっている人々の数）は、長く減少を続けていました。2005年の8億2560万人から、2014年には6億2890万人まで減少しています。

しかし、最近になって、再び増加に転じています。2019年の飢餓人口は、6億8780万人となり、2014年から約6000万人増えています。

さらに、国連は、2020年に世界の飢餓状況が劇的に悪化したと発表しました。その主な原因は、新型コロナウイルスのパンデミック（世界的大流行）の影響であると考えられています。飢餓人口は、まだ完全には把握できていませんが、世界人口の10人に1人が飢餓に苦しんでいたと推定されています。

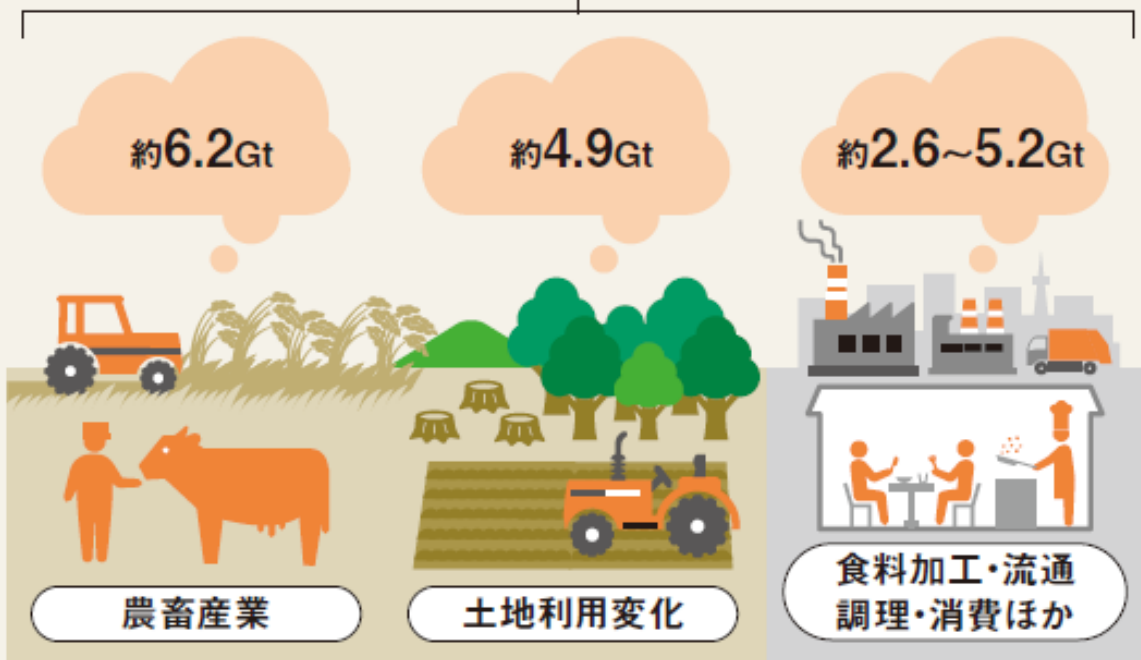
SDGs 2「2030年までに飢餓を無くす」という目標の達成には、多大な努力が必要です。

# 温室効果ガスの発生源

※1Gt=10億t

■ 食料システムから排出される温室効果ガスの量(CO<sub>2</sub>換算/年)

温室効果ガスの総排出量の  
21~37%を占めている



出典：IPCC.Climate Change and Land 2019 を基に東京都作成

食品が<sup>しょくたく</sup>食卓に届けられるまでの過程では、多くのCO<sub>2</sub>やメタン等の温室効果ガスが<sup>はいしゅつ</sup>排出されています。その量は<sup>そうはいしゅつ</sup>総排出量<sup>りょう</sup>の21~37%とも言われています。

○食品が<sup>しょくたく</sup>食卓に届けられるまでのどの過程で温室効果ガスが出るのだろうか。

○温室効果ガスの<sup>はいしゅつりょう</sup>排出量を減らすためにできることはあるのだろうか。

# ☆もっと調べてみよう☆



## ○消費者庁のホームページ

「食品ロスについて知る・学ぶ」

◁ここをクリック

## ○農林水産省のホームページ

「食品ロスの現状を知る」

◁ここをクリック

## ○かんきょうきょく東京都環境局のホームページ

はいきぶつ  
「食品廃棄物・食品ロス対策について」

◁ここをクリック

## ◇考えてみよう

- 多くの食品が運ばれてきて、食べられるのに<sup>はいき</sup>廃棄されてしまう実態を調べてみよう。
- 日本や世界の食品ロスを減らし、<sup>う</sup>飢えに苦しむ人を減らす取組を考えてみよう。
- 中学生の私たちにできることを考えてみよう。

